



平成27年1月  
31号

テンドロビウム

(公財)兵庫県園芸・公園協会 花と緑のまちづくりセンター

## 阪神・淡路大震災から20年を経て

### 第3回 花緑活動の経験、次に生かすこと

まちづくり有限会社きんもくせい 代表 天川 佳美

がれきに埋もれた震災後のモノトーンのまちに花緑を徐々に増やし、やがて花緑いっぱいのまちに再生させ被災者を元気づけたい！ 私たちの強い思いでスタートしたプロジェクトですが、その実践は決して平坦ではなく、さまざまな苦労や迷いを経験しました。

まず始めた種まき運動「ガレキに花を咲かせましょう」は、県内外から様々な支援を受けながら広がり、次のステップ、「家に苗木を」にシフトするはずでした。それは、徐々に再建され始めた住宅の敷地周辺に苗木を植栽してもらい、緑を増やすプロジェクトで、全国から様々な苗木提供の申し出がありましたが、残念ながら我々素人の手には負えなくなり、うまく活用できず苦い思いをしました。96年に発足した専門家の組織、ランドスケープ復興支援会議（通称阪神グリーンネット）などとの連携の必要を痛感しました。



移動生垣。

まちづくり支援ネットワークのメンバーの辻信一さんと再建後の真新しい住宅一軒一軒に生垣を勧めるために訪問しましたが、話を切り出す間もなく「結構です」と拒絶されることの繰り返し。家は再建したけれど生垣のスペースまで取れないといった事情が多かったのでしょう。行政の生垣助成を知らせたり相談に乗ってくれる植木屋さんリストを作ったりしながら、諦めず近くの公園で苗木を配ったり、「この苗木で生垣を作ってみませんか、手伝います」と口コミを狙ったりした甲斐あって数件が助成で生垣を作られました。また大阪の造園家、桑原章さん発案の「移動生垣」が、土地の狭い神戸市内の住宅にたくさん設置され、今もまちを彩っています。



沖縄から苗で送っていただいたカンヒザクラ

また、「全国の緑化関係業者や自治体などに苗木を育ててもらい、それが成長したらその地の子供たちに、苗木を携えて神戸を訪れてほしいと呼びかけたい」と当時のインタビューで答えています。提供された苗木は家を建てる人に記念として1本ずつプレゼントし、それを契機にさらに植樹してもらうことによって、まちの緑を増やしていけないかと漠然と考えていました。当時実現されませんでした。16年後の東日本大震災に思いが引き継がれ、生かされることとなりました。

さらに第3段階の「まちに生垣を」で住宅周辺に生垣や庭を作ってもらうことを進めました。阪神大震災復興市民



公園で移動生け垣を制作。

# 「2014ひょうごまちなみガーデンショーin明石」開催報告

明石公園を中心に明石のまちなみを花と緑で彩るこのガーデンショーは、「花と緑で明るく元気な明日をつくる!」を開催テーマに9月27日～10月5日の9日間にわたり開催されました。

会期中は天候にも恵まれ、ガーデンコンペを始め、県内農業系高校全11校の出展によるアグリハイスクールガーデン、県民参加型の夢プラン、体験教室などを来場者に楽しんで頂けたことと思います。

## ガーデンコンペ各部門兵庫県知事賞のご紹介

今回の応募作品数は308点でした。各部門とも作品の質が年々向上していることが感じられます。その中で、コンペの各部門最高位となる兵庫県知事賞を受賞された作品をご紹介します。(敬称略)

### ガーデン部門

#### コミュニティガーデン



花と緑と志 (加古川市)

#### 寄せ植え



中村 郁重 (伊丹市)

#### 額縁型プランター



三木 初江 (たつの市)

#### ハンギングバスケット・壁掛け



中谷 邦子 (豊岡市)

### 会場風景



### 花壇写真部門

#### コミュニティ・職域緑化



大池橋ミニバラ公園グループ (伊丹市)

#### 家庭緑化



小林 誉子 (三田市)

#### 学園緑化



小野市立中番小学校 (小野市)

ガーデンショーをより広範囲に楽しんでいただくために、明石市立花と緑の学習園、天文科学館～中崎遊園地の南北通りにサテライト会場を設けました。



花と緑の学習園(上ヶ池公園)



中崎遊園地前の南北通り

来場者の方々が手軽に体験できる花と緑の体験教室が4回、県民参加の夢プランが8組実施され多くの参加者で賑わいました。幼稚園児の花の絵の展示もありました。ご家族連れに楽しんでいただけるスタンプラリー、はばタンとパパたこの登場、明石発のご当地アイドルグループYENA☆(イエナ)のガーデンコンサートなど子どもたちも大喜びでした。

また多数のボランティアの方々にもご支援いただきました。ありがとうございました。

### PRガーデン



### デモンストレーションガーデン



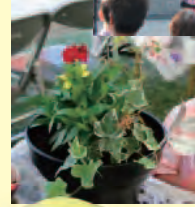
### アグリハイスクールガーデン



### 体験教室・夢プラン・ガーデンコンサートなど...



### 花と緑のまちづくりフォーラム



ご来場ありがとうございました。

講師：川上 裕氏の基調講演  
「名家モネの庭との絆を育て、新たな文化の花を咲かそう」

まちなみガーデンショー



ホームページ・フェイスブックにて、アルバム公開しています。



## 花緑団体の紹介

### 祝！第24回全国花のまちづくりコンクール国土交通大臣賞受賞

今年度の、花のまちづくり大賞(国土交通大臣賞)に兵庫県から受賞されました2団体を紹介します。

#### 日岡山公園で生涯現役をめざす

#### 「まちづくりリーダー養成講座OB会」

(加古川市)

代表 安尾 昌子

#### 【設立の経緯】

平成14年に加古川市が緑化ボランティア養成の目的で開催した、「花とみどりのまちづくりリーダー養成講座」の修了生で構成された団体です。

#### 【主な活動】

活動の拠点は日岡山公園です。昭和32年に市の総合公園(面積36ha)として開設された公園で、そこには受講中に制作した花壇や庭園があり、灌水、植え替え、除草などを講座修了後も自主的に行っています。

また、活動を継続的なものとするために、有志がNPO法人加古川緑花クラブを平成17年に立ち上げ、公園内の樹木の伐採、剪定、園内の樹木調査なども実施するとともに、公園の魅力を多くの人に伝えるために、日岡山インタープリター(案内人)として活躍しています。

さらに、市内の小学校の環境教育と連携し、草花の植栽や自然観察、腐葉土づくり、日岡山公園で高校生が実施している園内の掃除、除草などの指導や、ライオンズクラブの清掃・腐葉土づくりに協力しています。

#### 【大賞受賞と今後の課題】

活動歴の最も長い人は12年で、メンバーも高齢になってきました。新しい会員の確保が必要です。しかし、毎年会員は増えるものの考え方も様々で、世代間の価値観の違いも生じています。そんなときに出会ったのが「全国花のまちづくりコンクール」でした。応募して受賞できれば会員のモチベーションが上がり、団結力が強まるのではないかと考えました。

結果としての花のまちづくり大賞(国土交通大臣賞)の受賞は、12年間の地道な活動が認められたことと素直にうれしく思います。これを機に初心に戻って、自分にできることを一歩ずつ、今まで通り、まちのために、仲間のために、そしてなにより自分のために、活動を通じて得た知縁を大切に、生涯現役を目指しやっていきたいと思っています。活動人数現在165名

#### 「全国花のまちづくりコンクール」とは

提唱：農林水産省及び国土交通省

設立：1991年

目的：国際花と緑の博覧会(花の万博・1990年・大阪市)の基本理念「自然と人間との共生」を継承して花のまちづくりを国民的な市民運動として普及、定着させること。

内容：全国各地で取り組まれている花や緑による優秀な活動を顕彰し、広く紹介する。

4部門(市町村部門、団体部門、個人部門、企業部門)で行われている。



公園内の花壇の維持管理に精を出す



小学校の環境教育に協力

## 六甲アイランドに花開くローズガーデン

### 六甲アイランドCITY自治会 ローズガーデンファミリー (神戸市)

代表 寛光 良夫

#### 【設立の経緯】

六甲アイランドの街の中心を流れる人工の川が、阪神・淡路大震災で被害を受け度重なる修復に維持費がかかっていました。一部を花壇にする案が上がったところに神戸国際大学の白砂伸夫教授が、たまたま六甲アイランドガーデン構想を発表されており、本流を残し支流を埋めてバラ園にしたのが活動のきっかけで、平成24年1月から活動を始めました。

#### 【主な活動】

住民からボランティアを募集し現在40名体制で行っています。活動日を毎週水曜日の9時からとし、明るいオレンジ色のジャンパーを着て作業をしています。

ローズガーデンの維持管理経験がないことから、講習会を毎年夏冬の2回行い、知識や経験の蓄積を図っています。また無農薬ということもあり、害虫を手作業で駆除しています。花殻摘みや落葉拾いなどもこまめに行い清潔に保ち、病気を予防し、美観を保つことを心掛けています。

多くの住民から「川で残すよりもローズガーデンにして良かった」の声が寄せられています。毎年5月中旬から開催しているバラ祭りには、ローズティのサービスなどもあり、島外からもバラを見に多数来られるようになりました。

#### 【大賞受賞と今後の課題】

全国花のまちづくりコンクールにおいて、花のまちづくり大賞を受賞しました。関係者の皆様のおかげだと感謝しております。今後は、各マンション内にもバラ園を広げていき、バラを通じて街の活性化に繋がってきたいと考えています。



### 「全国花のまちづくりコンクール」審査基準

詳しくは「全国花のまちづくりコンクール」HPへ

項目	審査の観点
快適な生活環境づくり	地域の緑を大切に育みながら、街並みの景観を損ねる散乱ごみや屋外広告などを積極的に整理するように心がけて活動し、潤いと豊かさを感じられる快適な生活環境づくりや風景づくりがされているか。
エコロジー	環境にできるだけ負荷をかけないような活動や身近な自然を大切にした取り組みが行われているか。
花による表現	まちらしさ(地域性)の演出に花がうまくいかされているか。また、地域の歴史的・文化的資産が花のまちづくりにいかされているか。
花のデザイン	花や緑が周辺の風景や街並み、建物と調和し、花壇の花の配置や色使い、季節の演出などがセンスよくデザインされているか。
栽培状況	花殻や生ごみなどを土づくりにリサイクルしたり、農薬などをできるだけ使わないようにしたりして、環境に配慮した取り組みがされているか。また、花の生育特性を考慮して草花を植え、花や緑が健全に生育しているか。
活動状況	花のまちづくりにおいて、住民(企業を含む)と行政のパートナーシップ、住民同士の連携などが図られ、公共性の高い場所や地域に向けた場所での活動、オープンガーデンなどが実施され、それらが長続きし、発展するように取り組まれているか。
地域の活性化	活動によって地域の振興や活性化などにつながる波及効果が見られたか。

## グリーンメッセージ

# 花と緑あふれる兵庫県土づくりに向けた 貝原前兵庫県知事の熱い思い その1

花と緑のまちづくりセンター長

石原 憲一郎

(兵庫県参与・淡路花博2015花みどりフェアチーフアドバイザー)

貝原前知事(以下貝原さん)が急逝されました。その知らせを聞いたとき、しばし呆然とし、そのあと自然と涙がこぼれました。貝原さんの業績は、兵庫県勢の推進、阪神・淡路大震災の創造的復興、地方分権の拡大など枚挙にいとまがありませんが、花・緑関係で回顧してみたいと思います。

兵庫県は、多様な自然・文化・歴史・風景を有し「日本の縮図」と言われています。その地域特性を生かすため、美しい県土づくりや故郷づくりに向けて、全県全土公園化構想、淡路公園島構想、緑に関する各種条例の制定など緑や景観に関する施策を進めてきました。このような取り組みは、全国の都道府県の中でも極めて先取的で充実しており、その礎を築き推進したのが貝原さんでした。

貝原さんとの出会いは、筆者が建設省(現国土交通省)勤務時代の建設省兵庫県人会でした。当時、都市局公園緑地課に勤務していた関係もあり、世紀の大プロジェクトである明石海峡大橋の開通に合わせて、国営公園を誘致することや国際園芸博覧会を開催することなどを目を輝かせてお話しされました。そしてその実現と円滑な実施のため国からの専門家の派遣を要請されました。



淡路夢舞台地区の、広大な土砂採取地(約120ha)

結果的に、神戸が地元である筆者が、平成5年4月に兵庫県に転出、平成5年度に事業化決定した国営公園の事業推進、さらに整備半ばの国営公園を一時借用して主会場とする国際園芸・造園博覧会に関する国との調整に当たることとなりました。この調整は、結構大変だった記憶があります。

さらに、「博覧会開催時に、会場周辺の裸地を、緑豊かな森のようにすること」との貝原さんからの厳命を受け、広大な土砂採取地である現地の自然再生をどのように進めるか、その具体策を検討するため実務専門家を集めて緑化

アクションプログラムを策定しました。その後、企業庁による壮大な事業が進められ、現在の夢舞台の後背地に豊かな森が出現しました。



国際造園・園芸博覧会(ジャパンフローラ2000)は、2000/3.18~9.17、96ha、79カ国の参加、入場者695万人

それと並行して、「兵庫県の美しい県土づくりに重要な人材養成のための、これまでにない新しい教育研究機関を創設したいと考えているので、検討すること!」との命が下りました。都市公園などハード整備も重要だが、すでに県下に数多くある公園や類似施設、さらに、花と緑あふれる美しいまちづくりを担う人材が不可欠で、こうしたソフトな施策も重要であるとの認識でした。この新しい教育研究機関が、今の兵庫県立大学専門職大学院緑環境景観マネジメント研究科(兵庫県立淡路景観園芸学校)です。しかし、検討さなかの平成7年1月17日、阪神・淡路大震災が起きました。筆者は、その時震災復興の膨大な財政支出の中、この学校構想は中止となるだろうと覚悟を決めたのです。(続く)



国営明石海峡公園 春のチューリップ

ほっと

## ●●● 相談員ニュース ●●●

## プリムラ(ジュリアン、ポリアン) 購入後の管理

緑の相談所長(NHK趣味の園芸講師)

若松 康史

年末にかけて園芸店に出回るプリムラは数多くの種類があり、花色や花型のバリエーションが大変豊富です。プリムラの中でも、特に人気のあるバラ咲きなどの品種があるのはジュリアンやポリアンと呼ばれている種類です。現在は両者の間で交配が重ねられて品種改良がされたために、大きな違いは見られません。外見上の区別で言うならば、花が大きめで花茎が立つタイプをポリアン、株が小さく株中心に花が固まって咲くタイプをジュリアンとしているようです。

## 購入後の管理

## ◎置き場所

ジュリアンやポリアンとよばれる種類は寒さに強く、冬も屋外での栽培で問題ありませんが、直接霜に当たると花が傷みます。冬場は温度が低いので1つの花が2週間以上咲き続きますが、花が傷むと次の花が咲くまで長くかかり、見た目が悪くなってしまいます。霜の当たらない玄関先や軒下で管理すると花が傷まず長持ちします。

逆に、室内の窓辺などに置いて鑑賞する場合、高温が続くと早く咲き終わってしまいますので、室内で管理する場合は高温にならないよう、明け方は10度前後、日中は20度位を目安とします。温度が高くと多くの花が一度に咲いて次に咲く花を覆ってしまうことがあります。その場合はもったいないようですが早めに摘み取って次の花をきれいに咲かせるようにしましょう。

## ◎水やり・肥料

鉢土の表面が乾いたらたっぷりと水やりします。花が株の中心に固まって咲くタイプは花に直接水をかけると株内に水が溜まって傷むことが多いので、株もとに水やりすると良いでしょう。

開花期間が長いので肥料切れにならないよう、液体肥料を1 - 2週間に一回、規定濃度に薄めて施します。

なお、ジュリアンやポリアンは10月頃から花付きで流通していますが、これは高冷地で早く低温に当てて開花を早めているもので、夏越しさせても翌年同じ時期には咲かず、早くて年末からで本格的な開花は3月に入ってからとなります。



霜に当たった株(咲いた花は傷んでいる。)

霜に当たった株その後  
(霜の当たらない場所に移動すれば蕾はきれいに咲く。)

## 県立公園年末年始イベントの紹介

詳細は各公園にお問い合わせになるか、HPをご覧ください。

公園名	イベント名	日時	イベント内容
<b>フラワーセンター</b> TEL 0790-47-1182	お正月特別開園	1/2(金)～4(日) 9:00～16:00 (入園は15:00まで)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花クイズウォーキングラリー</li> <li>・お楽しみ♪抽選会</li> <li>・おもしろ自転車に初乗り!</li> <li>・はばタンと記念撮影</li> </ul>
<b>舞子公園</b> TEL 078-785-5090  旧木下家住宅	舞子海上プロムナード 正月営業	1/1(木) 6:30～12:00 1/2(金)、3(土) 10:00～15:00	元旦に展望ラウンジより初日の出を見ることが出来ます。
	旧木下家住宅青松庵 抹茶体験	1/14(水) 10:00～15:00	松の見える茶室で抹茶をいただきますか?参加費500円(入館料別)
	第49回たこあげ大会 (芝生広場)	1/12(月) 9:30～12:40 (受付9:00)	防火をテーマにした絵をかき、凧にして揚げる。
<b>赤穂海浜公園</b> TEL 0791-45-0800  観覧車	★みんなでわくわく クリスマス	12/23(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観覧者乗車の子どもにクリスマス人形とお菓子のプレゼント(先着30名)</li> <li>・ぐるぐるドーナツ乗車の大人・子どもに「ドーナツビスケット」プレゼント(先着100名)</li> </ul>
	★お正月タテホ子どもわくわくフェスタ	1/2(金)、3(土)	福笑い、ぜんざいの販売、甘酒の無料振る舞い、縁日ハピネスカーニバル、乗り物・動物ふれあい村利用の子どもにお年玉(福袋)プレゼント(先着各日600人)
<b>播磨中央公園</b> TEL 0791-45-0801	さいくるらんどからの クリスマスプレゼント	12/21(日) 9:00～17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お楽しみ抽選会(無料、さいくるらんどチケット購入者の内、小学生以下の方)</li> <li>・クリスマス写真撮影 貸出しクリスマス衣装で、おもしろ自転車に乗って写真撮影</li> </ul>
<b>丹波並木道中央公園</b> TEL 079-594-0990  かやぶき民家	凧作りと、 ぜんざいのふるまい	1/6(火) 11:30～14:00	かやぶき民家にて凧作り参加費200円 ぜんざいのふるまいは先着順、無くなり次第終了
	かきもち作り	1/7(水) 13:30～15:00	かやぶき民家にて、餅を切っかきもちを編みます。 要申込み(12月28日まで) 参加費 一連500円
<b>国営明石海峡公園</b> TEL 0799-72-2000	あわジオ フェスティバル	12/20(土) ～1/12(月・祝) 淡路島 国営明石海峡公園 ビジター棟	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化石の展示、レプリカづくり</li> <li>・化石をさがそう</li> <li>・ダンボール&amp;木工クラフト</li> </ul>

## 花と緑のまちづくりセンターだより 31号

●平成27年1月1日発行(年4回発行)

●編集発行 公益財団法人兵庫県園芸・公園協会花と緑のまちづくりセンター長 石原 憲一郎  
〒673-0847 明石市明石公園1-27 花と緑のまちづくりセンター

TEL:078(918)2405 FAX:078(919)5186 Eメール:info\_midori@hyogopark.com